

タイトル：胎児から始まる口腔機能発達研修会

講師：Mai 子どもデンタルルーム 院長 本目恵子氏

日時：令和8年6月28日（日） 14：00～16：30

場所：静岡県男女共同参画センター あざれあ 第一研修室

参加人数：42 名

一生モノの「食べる力」を育てる

～小児歯科の現場から伝えたい食育について～

- ・口腔機能発達における発育時期に合わせた注目ポイント
 - 1, 胎児期・授乳期・・・胎児の指しゃぶりとおいしい羊水、妊婦の姿勢と胎児姿勢、母乳育児のすすめ
 - 2, 離乳期・・・目指すべき正しい姿勢、捕食の始まり：口唇の発達を促すスプーンの使い方、舌・口唇・顎の動きと歯の本数に注目、発達を促す食事ステップ
 - 3, 幼児期・・・一口量の学習、手づかみ食で手と口の同調運動、離乳期から幼児食前期の子ども：食べにくいものは流し込みや丸呑みの原因
- ・噛める姿勢 環境設定が大切
- ・上手く食事ができない原因を考えよう

という内容で、約80分の講演をいただいた。その後、先生のデンタルルームでの管理栄養士による食事指導の内容紹介があった。そして、我々自身がコップで水を飲むときにどうやって口唇や舌を使って飲み込んでいるのか、そして姿勢の影響など実習体験して、今まで気づいていなかったことに、愕然とする思いがした。

その後、質疑応答ではどしどし手が上がり、参加者の意識の高さに驚くほどだった。

歯科医師としての先生を目線から分析されたことが、我々栄養士の知識としても必須だと確信した。とても有意義な講演をいただき、参加者事後アンケートでは（36名回答）「たいへん満足」が100%だった。「明日からの指導に生かせる」「とても勉強になった」という声が多く、本当に必要に迫られていた方々に届いた講演会ができたと思う。

報告者名：フリーランス・栄養関連企業等事業部 白石明子

作成日： 2026年 7月 2日